

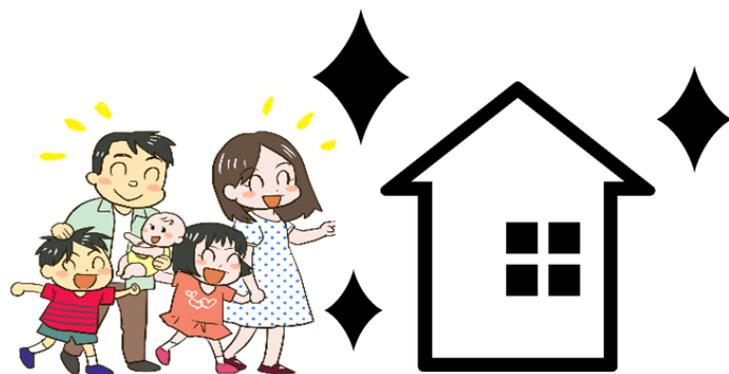


本物力こそ桑名力

令和 7 年度予算編成方針

～ P X で取り組む予算～

総務部 財政課



1. 予算編成にあたって

 マークは特に重要な点です。

20年先を見据えた未来を切り拓く



本物力こそ桑名力

国際化の推進・多様性の社会

2040年問題

超高齢化

変容する社会

担い手不足

子育て支援

医療・介護不足

原油高騰・物価高対策

人口減少

孤独死

防災・減災対策

若者定着

教育・保育環境充実

DX・GXの推進

施設の老朽化対策

Well-beingなまちを目指して(幸せの見える化)

20年先の市民の幸せ、職員である“あなた”の幸せとは・・・



将来の自分が“豊かで幸せなまち”の中で暮らすには、
今、何を考え、どんなことを始める必要があるのか、
想像しながら、課で協議して予算編成を行ってみてください。



PX(パブリックトランスフォーメーション)とは・・・

これまでの概念やルールにとらわれず、新たな課題や
変容する社会に、行政自らがカタチを変えフィットさせていく。

取組 ① 社会の変化と新時代への対応

取組 ② 20年先の“幸せなまち”を描いた取り組み

取組 ③ “自由な発想を出し合う”全員創造型の予算編成

令和7年度の取組(PXなど)

PXの取組 ① 社会の変化と新時代への対応

物価高騰など、社会の動きを反映した予算編成

(光熱水費・燃料費の枠配分からの除外)



民間のリソース(資源)を活用した公民連携の推進

7月から始める予算編成で十分な検討時間の確保と

働き方改革の推進



新時代・国際化に向けた市民サービスの実現

これからの桑名市を担う職員向けの財政に関する

財政運営・経営方針の研修機会の提供

令和7年度の取組(PXなど)

取組 ② 20年後の“幸せなまち”を描いた取組



変化や流れを見据えた未来予測力
と予見可能性の把握

政策的・投資的経費の重点的配分

未来を見据えた経常的予算のPX目線での見直し



ワイズスペンディングの徹底

納税者の視点で次の世代に責任ある財政に

取組 ③ “自由な発想を出し合う全員創造型の予算編成”



課題解決のための発想ではなく、主体的な自由な発想から
“課題解決”と“イノベーション”を生み出す

部局単位での自律的な予算編成で伸びゆく分野への大胆な予算配分



市民や社会のニーズを的確にとらえた施策の立案

がんばり“見える化”予算

・みんなで“変わる”“変える”予算による変革の継続

単年度の視点を超えた長期的なビジョンでの事業のあり方検討

令和7年度予算の姿

取組 ① 社会の変化と新時代への対応

取組 ② 20年先の“幸せなまち”を描いた取り組み

取組 ③ “自由な発想を出し合う”全員創造型の予算編成

職員自らが創造し、変える意識を持つことで



将来にわたり住み続けられる

“幸福度”が高いまちづくりが実現

2. 予算編成方針について

16, 17ページに財政課からの
お願いがあるので必ず見てね

○ 一般会計予算の一般財源の調整目標額について

一般会計歳出予算の一次予算の部局マネジメント枠の調製目標額は、**各所属：前年度比同額以内**とする。

社会情勢の変化により、歳出削減は厳しい状況ではあるが、限られた財源の範囲内で、予定している重点事業の投資的経費等について計画どおり予算を計上し、事業進捗を図っていくため、上記の目標額とする。事業のあり方については、以下のことに取り組むこと。

- ① 経常的経費（事業）は、社会保障関係経費や人件費の増加を見込んでいる。なお、燃料費・光熱水費は、義務的経費同様の扱いとしたうえで、「部局マネジメント予算枠」は、一般財源総額を前年度同額以内で調整すること。
- ② 公共施設マネジメントの取組は、将来を見据えて取り組む課題であり、別途グリーン資産創造課から資料の提出を求めるので注意すること。提出なき場合は、当該施設の予算要求は認めない。
- ③ 経常的経費（事業）事業実施所管課において、中長期的な目線で、事業の見直しに取り組むこと。また、本年度は「部局マネジメント枠」の達成有無に関わらずPX視点で見直すためのヒアリングを予定しているので留意すること。
- ④ 政策的経費（事業）は、別途、政策創造課より通知する内容に従って、予算要求すること。なお、継続事業であっても、全て見直しの対象とする。

令和7年度予算要求の区分



本物力こそ桑名力

予算区分		予算調製方法	予算区分		予算調製方法
二次予算 (政策的経費 (新規・臨時事業含む))	①人口減少対策	政策創造課・財政課・SDGs推進課による「一件査定」	一次予算 (経常的経費)	①「部局マネジメント予算枠」・みんなで“変わる”“変える”予算による事業見直し ※改革意識の徹底	通知する予算配分額に基づく予算要求、部内調整会議による予算調製
	②持続可能なまちづくりを支える「三つの柱」 ※政策創造課・財政課で事業選定 ・防災力の強化 ・スマート自治体への転換 ・確固たる財政基盤の確立	政策創造課・財政課による「一件査定」 ※DXに関してはスマートシティ推進課も加わる		②「がんばり“見える化”予算」付与額(R7分) ※点数配分を見直し	財政課・グリーン資産創造課による確認
	③11の重点プロジェクト・3つのミッション ※政策創造課・財政課で事業選定	政策創造課・財政課による「一件査定」		③人件費	財政課による「一件査定」
	④新規事業・臨時的事業	政策創造課・財政課による「一件査定」		④扶助費	財政課による「一件査定」
	⑤公共施設マネジメント (公共施設の大規模修繕工事を含む)・持続可能な施設整備・運営に向けた見直し(旧指定管理者制度導入施設)・GXの取組	グリーン資産創造課・政策創造課・建築営繕室・財政課による「一件査定」		⑤公債費	財政課による「一件査定」
			⑥特別会計・企業会計への繰出金、一部事務組合・地方独立行政法人に対する負担金	財政課による「一件査定」	
			⑦1,000万円以上の長期継続契約・債務負担行為に係る契約の経費(令和7年度中に更新予定のものは除く)	財政課による確認 ※必要に応じて財政課による「一件査定」	
			⑧燃料費及び光熱水費	財政課による確認 ※必要に応じて財政課による「一件査定」	

(1) 公共施設の適正管理・戦略的活用

① 公共施設マネジメントの推進

公共施設等総合管理計画 第一次アクションプランに示された、平成28年度から令和7年度までの10年間で概ね6.6%（約3万㎡）の削減を目指す。

② 全公共施設をハード・ソフトから見直し

- ・ハード
「公共施設マネジメント推進のためのルール化」
- ・ソフト
「時代の変化に対応したサービスの提供」

公共施設はハード・ソフトの両輪での見直しを行うこと



公共施設マネジメント推進のためのルール化
～施設の複合化・集約化・非保有へ
発想の転換を！～

時代の変化に対応した
サービスの提供

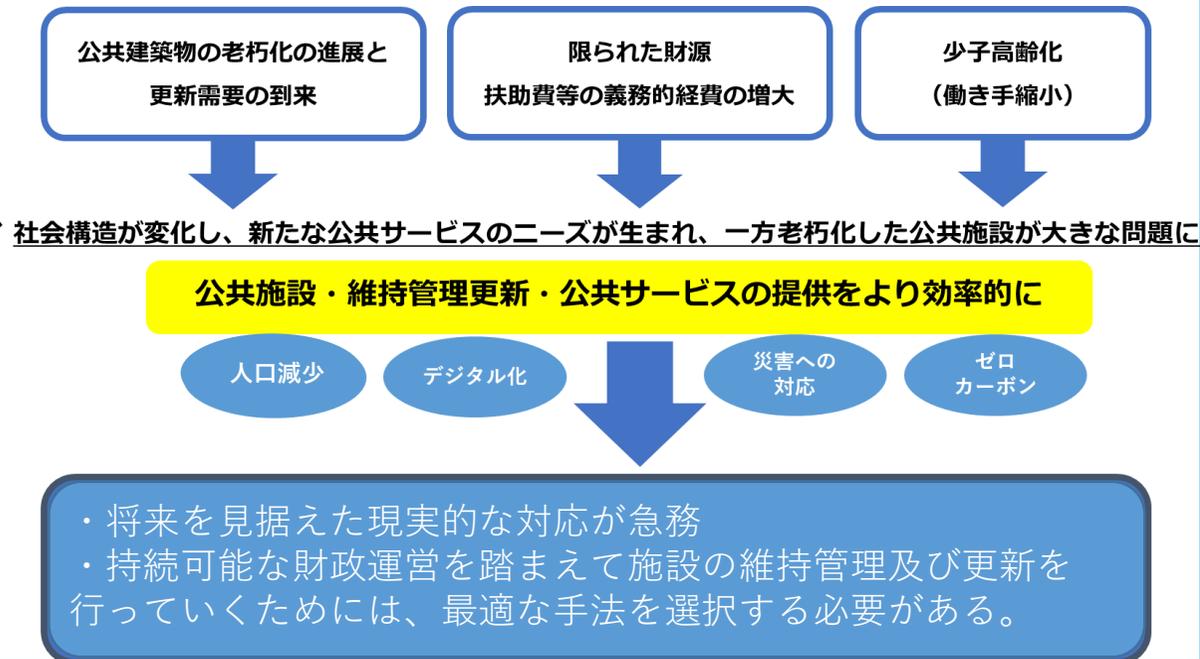
公共施設はサービスを提供する場所「ハコ」であり、公共施設＝サービスではない。

③ 個別施設の管理・見直しについて

- ・ 個別施設計画作成と管理計画の適正なデータ管理により、公共施設の再編を加速させる。
- ・ グリーン資産創造課が実施する施設状況調査は、予算要求にあたり必要な作業となりますので確実に入力・回答してください。
- ・ 特に、「セカンドステップ一覧表」に記載される施設に対する修繕費等を今まで以上に厳格に審査し、予算の必要性を判断します。

④ 公共施設の将来像

- ・ 保有する公共施設の機能を精査し、今後の在り方を検討する。
- ・ 民間事業者のアイデア・ノウハウや、DXを活用し、施設の多機能化・複合化・最適化・非保有といった、さまざまな手法について検討する。



(2) 時代の流れに沿った変革の継続

①「先を見据えた」事業選定

新規事業を要求する際は、10年先、20年先を考えたうえで要求すること、また、市の施策上の効果や財政的な視点等を基に、必要な事業のみを事業化する。

②PX視点でのヒアリング

経常的事業については、枠配分達成状況に関わらず、PX視点で「行政自らが変革する」ことを目的として、各部局へヒアリングを行い、予算の調整を行う。

③「みんなで“変わる”“変える”予算」の取組

一般財源枠について、昨年度と同額で配分しているが、厳しい社会情勢の変化を踏まえると、前例踏襲での予算調製は困難である。この状況を打破するため、様々な視点をもとに各所属自らが、これまでの事業の手法を見直し、前例にとらわれずにあらゆる創意工夫を重ねた予算とすること。こうして行った見直しの結果は「みんなで“変わる”“変える”予算」として見える化し、必ず効果額を出すこと。

④ 「がんばり“見える化”予算」の活用

該当する変革の取組があれば申請し、歳入増収や歳出削減の取組や成果を「見える化」すること。

なお、今年度から効果額の充当にあたっては、当該課だけでなく、部内で充当できるように制度を変更する。

各所属長は、職員の積極的な取組を促すとともに、その取組内容や取組の成果については、人事評価へも適切に反映すること。

⑤ 新規事業の継続事業への見直し

令和6年度予算での新規事業（「二次予算」）（令和6年度補正予算での新規事業含む）で、令和7年度予算において「一次予算」に移行する継続事業については、原則9割を掛けて減額した上で、「部局マネジメント予算枠」の算定基礎に加算することとする。

⑥ 公民連携による事業スキームと財源確保 ～新たな変革手法の実行～

事業の実施にあたっては、まずは、行政がすべきかを考え、民間の持つ経営資源を効果的・効率的に活用すべく、公民連携・民営化を検討すること。なお、検討にあたっては、政策創造課と協議すること。

⑦ DXの推進

AI（人工知能）やRPA（ソフトウェア・ロボットによる業務自動化）などの新たな技術を活用して処理できる業務については、その導入を検討すること。

なお、検討にあたっては、スマートシティ推進課と協議すること。

合併特例債の活用はもうできません。



がむしゃらに財源の確保に努めてください。



国庫補助、県補助がなくなったら、
事業は廃止・縮小してください。



公共施設の修繕は都市管理課の見積を経たものに限ります。

※見積があっても予算措置は保証しない



がんばり“見える化”予算の積極的な提案をしてください。



以上、財政課からのお願いです。
よろしくお願ひしますm(_ _)m



令和7年度予算編成のスケジュール(予定)



7月下旬

8月～

8月～

11月～

1月

2月

予算編成方針説明会

事業の見直し・部内調整

予算要求入力

予算査定

予算案確定

議会上程

- ◎ がんばり“見える化”予算
- ◎ みんなで“変わる”“変える”予算